

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION

シオン

No.

39

2019



●ZIONコレクションー8

「学園新正門」

学園が誕生して70年。赤レンガ造りの「新正門」が完成した。新正門は、JR大みか駅と周辺の整備で、駅舎の地下化に伴う東西自由通路の完成に合わせて建設。駅西口と徒歩1分でつながり、念願の「駅近通学」が実現した。

自分を超えた存在に

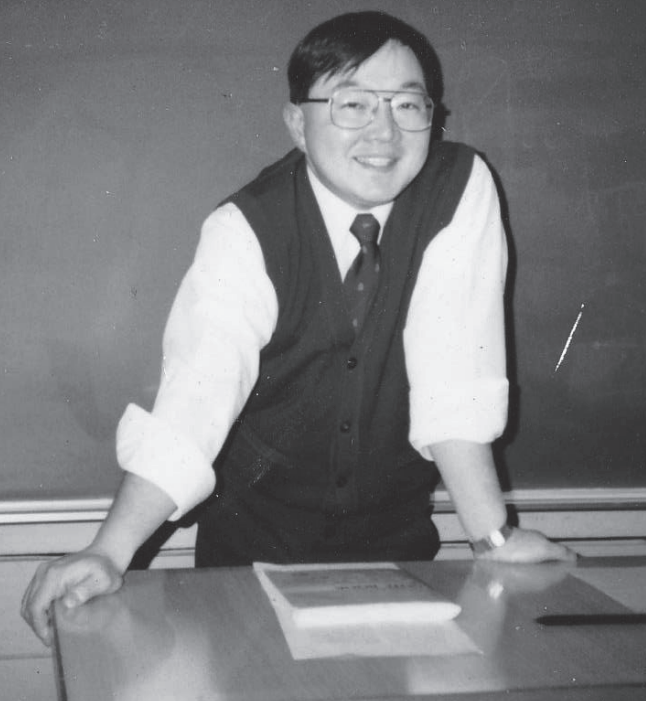
目を向けて

宗教部長・地歴公民 熊崎伸一郎 先生

「あ、こんにちは。よろしくお願ひします」待ち合わせた小会議室に熊崎先生の声が柔らかに響く。温かい笑顔が部屋の空気を和ませる。気忙しい学年末に、先生は快くインタビューを受けて下さった。

ZION36号《あの頃を語る》の修学旅行の写真に若き日の熊崎先生が。「懐かしいですね。初めて担任したクラスですよ。1984年に着任して35年。もう60歳になりました」

ご出身は埼玉。学校は中学から大学



教壇に立つ若き日の熊崎先生

院まで東京。クリスチャンの家庭に育ち、修士論文はオランダの教会史。研究し学んだことを活かせると、キリスト教学校教育同盟の紹介で本校に赴任された。「当時の校長は大森孝夫先生。とってもいい方でした。あの頃は、梅津先生、原田先生、藤枝先生たちにも可愛がつて頂き、楽しかったですよ。今は入学式や学校説明会で卒業生がよく声を掛けてくれます。同窓会にもよく行きますよ。生徒と保護者と人と人との付き合いが深いと感じますね。シオンファミリーです」

中学にも長く在籍し、中高一貫の4回生と共に高校に戻った。担当教科は世界史。また、宗教部長として宗教的行事を担い、毎日の礼拝で聖書の言葉を伝えていく。「自分を超えた存在に目を向けることで、客観的に自分に与えられた恵みや良さを知ることになり、また聖書や讃美歌の言葉が少しでも子供達の人生のプラスになればいいなと思っているので

す」

また、「この学校の良さは、大きな恵みの中で先生方も生徒達と共に素晴らしい能力を発揮し、高みを目指していることです。先生方はそれぞれの人格や能力を尊重するキリスト教教育を理解し、進路指導や生徒指導、グローバル教育に反映しておられます」と語った。ヴォス校長も昨年のインタビューで同様なお話をされていた。本校のマインドなのだろう。

「創立70周年を迎えた今、戦前からの信仰を保ち、戦後の混乱の中アメリカと日本の教会の人達がどのような想いでこの学校を創ったのか、時流に流されずどのような生徒を育てたいかとしていたのか、改めて建学の精神を掘り下げる必要があると僕は思いますね」

先生は静かな口調で大切なことを伝えて下さった。一昨年体調を崩されて現場復帰したばかりと伺ったが、すべてを糧にと、ポジティブ思考のメッセージは希望に満ちている。

日曜日は家族揃って教会へ通う。奥様の父上は元校長の繋国良明先生。現在研修医のご子息も中高一貫卒業生だ。まさにシオンファミリー。

平成元年
1989年
40周年を
あの頃の頃を



“あの頃みんな若かった”

●ダイエースプレーで固めた髪型！



中澤輝勝
(水戸市在住)



飯野修司
(水戸市在住)



宇佐美健二
(水戸市在住)



菌部浩之
(日立市在住)



横山貴祐
(日立市在住)

中澤 今日のメンバーで会うのは30年ぶりぐらいかな。昔話を掘り起こすために卒業アルバムを見て予習してきたよ。みんな若いな。

横山 中澤さんは個人写真の背景がひとりだけ茶色の芝生だけど、なんでだっけ？

中澤 真面目に学校に行っていなかったから、みんなと同じ時期に撮れなかったんだね。今だから言えるけど、バイトやったり、社会勉強が忙しくて。

宇佐美 2時間目から出ることが多かったよね。

飯野 そんな中澤さんが警察官で、県民を守る立場とは驚きだね。社会勉強が役立ったというわけだ。当時、このメンバーはヤンキーみたいな髪形してたよな。

菌部 そうそう、みんなとんがってて、あれが流行だった

中澤 ちょっと前に「今日から俺は」って学園ドラマがあったけど。テレビを見てた娘が「あんな髪形の人っていないよね」って

呟くと、嫁が俺の卒業アルバムを持ち出してきちゃって、見せたら唖然としてたっけ。

横山 あれって強力なスプレーで固めてたんだよね。どこに売ってたんだっけ？

宇佐美 あれは水戸のダイエー。みんな「ダイエースプレー」って呼んで、水戸に住んでいる僕とかが買ってきてたんだ。

菌部 この学年は圧倒的に男子が少なく、10人もいないクラスがふたつ。みんなが髪形を揃えたりすることで団結力を確かめ合っていたような気がするなあ。

横山 確かに女子が多かった学年。同級生で結婚したのも何組かいたよな。

飯野 それはウチ。ほかに何組か結婚してるのは知ってる。

菌部 短大のチャペルで結婚式を挙げたんだよね。

飯野 妻が短大卒だったからチャペルで挙げたいと思って、当時の広瀬校長に仲人を頼んだら、念願叶ってチャペルで結婚式を挙げる事ができたんだ。

宇佐美 仲人を校長先生に頼むとは考えたね。実現できるわけだ。

飯野 僕らの学年は野球部が強かった。たしか秋の大会で優勝したから、「夏の甲子園に出場するかも」って期待がかかってた。テニス部の話はしないよ。

宇佐美 ホントだよな。甲子園に行けるって思っていた人は結構いた。

横山 僕らサッカー一部も、熊谷先生の熱い指導を受けて全国大会出場を目指したよ。

中澤 花園目指してたっけ、俺もセンターフォワードとして。

菌部 違うでしょう、国立。そもそもアルバム撮影の時に入り込んだサッカー部員だし。今でもサッカー部OBは何人かで集まって「市内OB戦(40歳オーバー)」でサッカーを楽しんでるんだけど、知らないでしょ。

中澤 俺はサッカー部じゃなかったのか。そうだ、ボクシング部だった。

菌部 はいはい。久しぶりに会うのに、誰かが口を開くとあっという間に話が膨らむから、一瞬で高校生の頃に戻れるね。こうしていても違和感がないというか、あの頃は本当にみんな若かった。今日はいい機会だったね。

※シオンサッカー部OBで、またサッカーをやりたいと思う方は、ぜひ試合と一緒に汗を流しませんか。



中野 可奈子
(旧姓黒沢・28回生)
日立市在住

「花友」との日々を…

学園から国道へ向かって10分ほど歩くと可奈子さんの庭が見えてくる。

そこには、隣接するドイツパンの店と相まって、優しい香りと心地良い雰囲気漂う。

庭づくりを始めたのは12年前。花や樹木を植え込み、レンガを積み、アプローチを作るなど時間をかけて造り上げてきた。イングリッシュカントリー風の2棟の小屋もその風景に一役買っている。ガーデニングの専門誌で紹介されたこともある庭は、3年前からは、旅行会社企画のバスツアーで、県内外から200名の見学者が訪れ花の香りを楽しんでいる。アンティークの食器で頂くお茶とお菓子が良く似合う癒しの異空間…。

家族は、東北大学で教鞭をとるご主人と本校出身の3人のお子様。これからは、「花友達」と心穏やかな日々を過ごしたいと考えている。

窮地を救った1冊の本

在学中はクラスの委員長として級友を束ね、学年やクラス対抗のスポーツ大会で汗を流しクラスの頼りになる存在だった。本学園大学のキリスト教学科卒業後は早稲田大学の研究助手となり、その後結婚。

国際協力機構(JICA)でご主人の赴任地、ジャカルタ滞在中に現地雇用の料理人にパン作りを教える必要にせまられた。それまで未経験だったパン作り。日本から唯一持参した「パンとお菓子」の本を頼りに試行錯誤を繰り返すうちに、今まで体験したことのないおもしろさにはまってしまった。

帰国後すぐに、ジャパンベーカリースクールに入学。初、中、上級コースから講師、教師と研鑽を重ね、平成20年に師範となる。現在は自宅で教室を主宰。生徒20名の中には、同じクラスだった近藤(旧姓斉藤)恵美子さんも。



丸山 さと子
(旧姓荒川・18回生)
横浜市在住



安藤 佳世子
(旧姓大部・8回生)
埼玉県川口市在住

マラソンで世界旅行

高校の時は、ほとんどスポーツをする体力もチャンスもなかったが、ご主人の転勤で、バンコク、大阪などで専業主婦として2人の娘さんの子育てに専念していたところ、血糖値に問題が起り、健康のためにと子供のラジオ体操と2kmのジョギングに参加。それが走ることの始まりだった。ご主人とプールで水泳しながら体力作りもし、同好のグループとワイワイ走っているうちに、マラソンへと発展していった。勝田マラソン、河口湖、青梅マラソンなど国内から海外まで。ニューヨーク、ボストン、ロンドン、パリ、オーストラリア、フィジー、中国等々、楽しく走った。45歳～70歳まで25年間走ったことになる。

今はさすがに走ることは止めたが、お茶会、パッチワークと相変わらずフットワーク軽く、すこぶるお元気である。

ひたちなが市に本店のある(株)サザコーヒーは、1969年設立のコーヒー専門店。鈴木太郎さんは副社長。コーヒー創業者で前社長(現会長は、本校同窓会名誉会長の鈴木誉志男さん)。

店舗数14。県内はもとより、東京、品川、大宮、二子玉川など首都圏にも積極的に進出。昨年は新たに、エコー丸の内店もオープンした。年商13億の堂々たる企業だ。その様子は、今年1月放映のテレビ番組「カンブリア宮殿」で紹介されている。

太郎さんは、県立高校から本校へ再入学した。バトミントン部室での麻雀。原付バイクに颯爽とまたがったヴォオス先生(現校長の服装検査。電車内の喫煙等々…。でも、授業にはちゃんと出席していました。大らかな時代でしたな」と、自由奔放だった当時を振り返る。

卒業後は、大学進学のため東京の予備校に通うが、両親の勧めもあり、大阪のコーヒー問屋へ勤めることに。社会人としての第一歩を踏み出したが、学歴社会の現実を痛感すると同時に、大学受験の強い意思が固まり猛勉強を開始。見事、東京農業大学への入学を実現させた。在学中は食品化学研究所へも通

い、関心のあった果樹栽培を学んでいたが、大学2年の時、父親がコロンビアのコーヒー農園を購入したのを機に、卒業後すぐに現地に行くことになり、困難を背負いながら社会人としての再スタートを切った。



●いま輝いています●
Bright

**仕事も趣味も
コーヒーです**

(株)サザコーヒー・取締役副社長
鈴木 太郎 (40回生)
ひたちなが市在住

世界の美味しい食を日本へ

高校は文系で、部活はバスケットボール部。顧問の富田先生の「辛い時ほど腐るな。やり通せ」を思い出すと、「よし、やってやろう」という気持ちになる。高2にアビリーン短期留学を経験。「世界中の色々な人々や文化・食に触れたい」との思いから、米国・カンザス州立大学で、パイロットを目指し航空学を専攻したが、航空業界の環境の変化から、途中でテクノロジーマネジメント専攻に変更。

現在は三菱食品株式会社ブランド戦略本部で輸入業務を担当。東京勤務だが、年2回は海外出張。ドイツ・ケルンで1月に開かれる世界最大のお菓子の展示会では、グミやチョコなどの仕入れをする。世界との関わりが大きいやりがいのある仕事だ。

会社の同期と2年前に結婚。まもなく1才になる娘のパパ。趣味は食べる・飲むで、同僚と良く集まる。休日はスーパーでの食品リサーチと、日本を知るための国内旅行。

日本人が知らない海外の食べ物を国内に広げ、日本の食文化を更に豊かにしたい。



安島英城
(58回生)
東京都在住



森万由美
(68回生)
茨城キリスト教大学
現代英語学科

ガッツな元チアガール

高校では3年間チアガールをやっていた。野球大会や文化祭に向けて、練習練習の毎日。2か月で30曲をも覚えこなした。練習はきつかったが充実した日々だったという。

高2の夏、1か月間のアメリカ短期留学「グレートプログラム」への参加資格を得た。あまり話せなかった英語だったが、最後のプレゼンでは、チアで培った根性と表現力で体当たり!テーマはなんと「水戸の納豆」。表現力を認められた事と終わった後の達成感がとても嬉しかった。それが自信となり、今の学部へ進む大きなキッカケになったという。

万由美さんは本校制服が大好き。卒業してからディズニーランドへ行く時には、みんなで制服揃いコーデ。まさに本校制服は、人気度ランキング上位になるのが頷ける。

将来の夢は国際的な仕事をする事。「何ヶ国語も話せるようになりたいんです!」と、万由美さん。意欲に燃えるガッツな元チアガールだ。



黒川康敬
(48回生)
東京都在住

がんとの共生で「生きる」と向き合う

高校時代に父の会社が倒産。大学は奨学金とバイトの苦学生。卒業後は不動産会社とエンターテイメント会社に勤務。韓国語を学ぶため教会に通い、26才で受洗。31才で独立したが失敗。32才で2度目の起業に挑戦中に乳がんが発覚し、右乳頭を摘出。失意の中、遠ざかっていた教会に戻り、教会で巡り合ったグラフィックデザイナーと結婚。その後神学大学に編入。

現在は、妻と共にデザイン事務所を営営し、パートタイムで、プロテスタントキリスト教会の伝道師として中高生の支援活動にも従事。家庭では4才と2才の娘の良きパパ。

20代はお金・地位・名誉を求めていたが、がん発病後は『生きるとは何か?』と向き合い、与えられた命を最大限活用して人の役に立とうと心掛けている。発展途国で宣教師になりたいとの夢も持っている。

お得意料理は?

中学生の時から英語が大好き!高校卒業後は迷うことなく本学園の短大英文科へ進学した。在学中にはサンディエゴへ英語研修のチャンスに恵まれ、英語熱は益々高まった。卒業の5年後には念願のロンドンへ留学。それ以来、英語圏の国を始め、50の国々を旅している。

現在は、個々のレベルに応じた丁寧な指導をモットーに「ハート英会話教室」を立ち上げ、受験生を主に、保育園、幼稚園にも出向き教えている。

また、実家が酒店ということもあり、日本酒のソムリエとも言われる利酒師として20年のキャリアを持つ。

最近、料理を習い始めた。お酒と共に味わう料理を作るために、珍しい食材を見つける楽しみが増えた。



石川初恵
(38回生)
ひたちなか市在住



コロンビア・サザ農園



昨年7月に開店した、サザコーヒー KITTE 丸の内店

る超多忙な日々を送っている。
また、自分が食べたいものをより安全な食品として提供することをモットーにし、その対策も怠らない。太郎さんのもう一つのこだわりは、販売用のコーヒーを入れる袋の開発。袋の内側をアルミ箔、ポリフィルム、ポリウレタンの3層構造にすることにより、コーヒ

ーの酸化や劣化を防ぐ、あえてコストのかかる方法を用いている。
昨年、茨城キリスト教学園は創立70周年を迎え、初代学園総長・ローガンフアックスコーヒーが高校同窓会の提案で記念発売された。そしてこの程、学園とサザコーヒーのコラボによる、新たな企画としての商品化が決定した。

マックス・D・マウラー先生と “I.C.C.ŌENKA”

マックス・D・マウラー先生は、1953年から1971年まで、第3代、第9代の高等学校校長を務められた。

この間、1967年から1970年の学園での活動が、先生自身によって記録されている。抜粋ではあるが当時の行事などが懐かしく思い出される。

●1967年11月

11月2・3日は学園の文化祭で、生徒達は全員忙しく動き回り、展示、運動競技、音楽、演劇などの出し物を準備しました。生徒達は一生懸命やり、1万人の訪問客があり大成功でした。

●12月23日

高校の礼拝で、キリストの誕生を待ちわびるメッセージをしました。伝統になっていることですが、この時高校と中学では、恵まれたい人々への献金を募りました。生徒達は5万円を老人施設と児童養護施設へ捧げました。

●1968年1月15日

新しい年がやってきて、直面する課題と、のしかかる責任の重さに気付かされます。

●2月2日

アメリカから来日した、15名からなるハーディング大学の巡回コーラス隊「ベル・アンド・ボウ」の公演がありました。アメリカの武装兵特別奉仕団の企画で、アジアにある駐屯地を回っているのですが、大みかまで来てくれて、全学園の生徒を楽しませてくれました。

●3月5日

高校生の卒業式を実施しました。私は卒業生253名全員と一人ひとり握手をし、短いスピーチをしました。

●3月某日

高校2年生は、3年の新学期が始まる前に関西地方へ旅行します。今年は220名の生徒達と10名の教師とで6日間の旅をしました。1日に3回の日本食を食べるのは大変で、毎食全部を食べることは出来ませんでした。旅行は最高に楽しいものでした。

●10月20日

高校のコーラス部が茨城地区音楽祭に参加し、高校の部で1位になりました。そして10月26日には、茨城代表とし

て関東大会に出場し、2位になりました。これはとても誇りに思っています。

●1970年3月

高校の入学試験は、2600名の生徒達が、学園のすべての校舎と体育館を試験場として使用し、混乱もなく無事に終わりました。

●5月

日本の4月から5月は実に春らんまんの季節です。草はたちまち緑に変わり、花は突然鮮やかな色彩を見せ、空気は和み始めます。心地良い日々に行き続けていることが嬉しく感じられます。

“幻の応援歌”

野球と音楽が大好きだったマウラー先生は、帰国する1971年に“I.C.C.ŌENKA”を作曲された。この曲は生徒に歌われることはなかったが、先生の学園に対する気持が良く表れている。

マウラー先生は3月まで校長を務められ、その後ご家族と一緒にアメリカへ帰国された。

そして2015年、ネブラスカ州オマハで90歳で亡くなられた。温厚で優しい先生だった。



「ZION」発行への寄付のお願い

15,000人以上の卒業生への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要です。毎年資金が不足しております。ご協力をお願い致します。
(「ZION」に同封の振込用紙を使用下さい)

本誌編集スタッフ募集!

●連絡は事務局へ

学園新正門が完成!

●大みか駅西口まで徒歩1分の距離に

JR大みか駅がリニューアルされ、新しく改札口が地下に設けられた。西口(学園口)を出ると目の前に、3月に完成したばかりの学園の新正門が現れる。門を通り抜け、大階段を登ると学園風景が広がる。

新正門わきには、創立70周年記念プロジェクト寄付者名を記した銘板が設置され、高校同窓会の文字も刻まれている。



●平成 30 年度同窓会への寄付者一覧 (86 件)
 (合計金額 413,000 円) goodnessありがとうございました。

2 染谷愛子	18 山田章子	32 村田俊一
5 高野倉子	18 郡司任孝	32 松山圭吾
5 大山 寿	18 富田ひろ子	33 吉田智津
5 瀬木 昇	19 染谷啓子	34 大野真弓
7 高野 勇	19 磯崎幸子	34 今本祐子
8 加藤志津江	19 手塚正子	37 磯崎幹子
9 中林由紀子	19 竹下淑子	38 高江洲容子
9 藤田俊子	19 水庭敬子	38 村山めぐみ
9 今村純一	20 菅原卓子	39 中村美織
9 林 文昭	20 沼田敏江	45 西村真樹
10 大内さなえ	20 藤原智子	46 大久保尚志
10 布施昌子	20 荒川真理子	49 安三保子
10 豆沢雅子	20 松田玲子	50 斉藤清美
10 幡谷靖子	21 南田文子	57 川嶋啓太
11 戸張紀子	22 福島和子	59 大森真理子
11 大谷俊恵	23 佐藤芳子	60 柳瀬 希
12 鈴木良子	23 弓野孝子	60 小橋稔彦
12 伊藤佳子	23 武士一枝	62 大森翔一郎
12 石川育子	25 栗原昌子	64 川端春希
13 坂本喜伸	25 石田進一郎	67 鯨岡洋子
13 長谷川裕子	25 後藤謙一	旧職員 上田加奈子
14 丹羽智恵	25 益子ひとみ	旧職員 上野正治
15 西田美知子	27 新妻 忠	旧職員 菅原信子
15 柴田美知子	27 大森明美	旧職員 原田きよ
15 若松俊夫	29 鈴木浩一	愛真会
16 隆 珠美	30 金澤邦博	11 回生 C 組
16 辻本しのぶ	31 上遠野朋子	匿名 3 名
17 若松守正	31 川嶋広行	

エイダ高校・姉妹校締結30周年

春の短期留学にヴォス校長が同行し、記念式典に参加した。また、3月にビーイング校とも姉妹校締結した。

よかっぺ祭り
トウモロコシプロジェクト

日立中央ライオンズクラブの本校 OB メンバーと大学経営学部ゼミの共同プロジェクトに、有志生徒 10 数名が参加。那珂市の畑に通って、種まきから収穫までを行ない、多賀駅周辺で開催された「よかっぺ祭り」で販売した。また来年もと張り切っている。



ちゃん平先生に弟子入り？

「相模亭まり雄」こと 2 年生の野島慈恩君。小学 4 年の時キッズ落語講座で落語に会い、すっかり夢中に。こども落語全国大会に出場するほど腕を上げた。社会人落語日本一の「二松亭ちゃん平」こと斎須博先生に憧れ中学から本校に入学。レポートも増えて、学園祭などで披露している。落語部創設にも期待しよう！

第 30 回全国高校駅伝競技大会で 34 位

■陸上競技部 (女子)

京都市西京極総合運動公園陸上競技場で、昨年 12 月 23 日行われた同大会に、3 年連続、22 回目の出場を果たし、34 位でゴールした。

ありがとうございました！ ・船生宏司先生 ・水谷正美先生
 ◆4 名の先生が勇退されました。 ・高塩 修先生 ・鈴木理史先生

「シオン祭」今回も、われらの“露店”絶好調!!

昨年 11 月 3 日に開催されたシオン祭に参加。サザコーヒー、笠間焼などの販売とフリーマーケットを行ない、多くの来場者で賑わった。収益金 105,308 円は、同窓会の活動資金として寄付された。

開催しま〜す!!

■日立支部総会のお知らせ

5 月 25 日 (土) 午前 10 時 30 分より。会場は学園記念館。当日、年会費 1000 円を徴収させていただきます。ご了承ください。尚、総会修了後、高校卒業生の星野由美子さんによる「ミニライブ」を予定しています。多くの皆様の参加をお願いします。



開催しました!!

■7 回生

11 月 11 日 (日)、水戸京成ホテル。10 年ぶりに傘寿を記念して開催。17 名参加。2 名は 61 年ぶり。卒業当時にリセットしたかのように盛り上がり、1 年以内のミニ同窓会を約束。



■11 回 C 組

6 月 23 日 (土)、水戸京成ホテル。17 名参加。卒業後 58 年経ったが、すっかり高校生に戻り話が弾んだ。



■15 回 D 組

10 月 14 (日) ~ 15 日 (月)、国民宿舎「鶉の岬」。他クラスからの参加も含め 18 名。53 年ぶりに顔を合わせた友も。



■東京支部

10 月 20 日 (土)、第 3 回イベントとして 30 名が参加し「佃・月島観光まち歩き&月島もんじゃ会」が催された。区のサポーター協会のガイドで 2 時間散策後、だるま月島本店を借り切り食事会。小鴨先生、関本 (五来) 先生も参加。



■寮生の集い

10 月 27 日 (土)、大みかクラブで。寮監だった広瀬先生、小鴨 (掛札) 先生を交え、29 名が参加。食事の後、学園内ミニツアーを行った。



お待ちしてま〜すヨ

ホームカミング・デー

2019年度

日時 6月1日(土)

会場 学園記念館

- 礼拝・総会 11時30分〜12時15分
- 楽しい集い 12時15分〜13時
- ゲスト演奏 13時〜13時40分
- ★ 大抽選会 13時40分〜

★今年のヒーロー、ヒロインは
2・12・22・32・42・52・62回生。
皆様のお出をお待ちいたしております!



ゲスト演奏

鈴木一宏 (36回生) と
ジャズ仲間たち

編・集・雑・感
久しぶりに学園を訪れる卒業生は、きつと驚かれます。大塚駅が地下改札口に变身して、西側出口の目の前に学園正門が、ああこんなに近いなんて!今の生徒が羨ましい。と感激すること間違いなし。是非、ホームカミング・デーに参加してみませんか。
編集委員のメンバー 高齢化に伴い、やる気ある若手(自称OK)編集者を求む。

●編集スタッフ: ブキヤン 理枝子・佐藤寿子・手塚正子・荒川真理子
原田順子・松田玲子・芳賀友博 ●デザイン: Mat

スタンドロコポイント
Loco Point
金澤良枝 (46回卒)
水戸市泉町 3-3-40 イロカワビル 2F
TEL.029-233-1965
定休日 / 日曜日・祭日

建築・土木・住宅・リフォーム
INOUUE
株式会社 **井上工務店**
茨城県ひたちなか市和田町1-10-13
Tel:029-263-0211 Fax:263-0215
http://www.inouue-koututen.jp

保険・不動産
タクラ株式会社
代表取締役 高倉徳郎 (39回卒)
水戸市末広町1丁目5番14号
Tel.029-225-9574 / Fax.029-225-9578

ブライダルコーディネイト
TOTSUKA FLORIST
(有) **ツツカフローリスト**
水戸市泉町1-3-17
Tel.029-232-8711 Fax.029-224-5471

…安全と安心のお手伝い…
安全保護具 ● 非常災害用品 ● 空気呼吸器他保護具
防火用品 ● 土木標識全般及びブーム ● 感染症対策用品
＜消防・防災用品の総合商社＞
EK **栄興防災株式会社**
水戸市住吉町32-2 TEL029-247-2255
日立栄興防災(株)
日立市東町2-11-4 TEL0294-22-1063

Anchor Staff
アンカースタッフ
●人材派遣業務 ●プロモーション業務
株式会社アンカースタッフ
取締役 黒木 亜希子 (旧姓・大内 / 37回生)
〔本社〕〒310-0055 水戸市袴塚3丁目3-52 アンカースタッフビル
Tel.029-350-1551 Fax.029-350-1552
〔HP〕 http://anchor-staff.jp
〔東京オフィス〕
中央区銀座7丁目13番6号サカミビル2F Tel.0800-777-2001

介護付有料老人ホーム
一般財団法人 安寿苑
ローズヴィラ水戸
〒310-0903 水戸市堀町 1444-1
TEL029-254-8111
http://www.rosevilla-mito.org

お弁当の
万年屋
by koujiya
大洗町磯浜町 3666-2
TEL 029-267-5104 FAX 029-267-5916

天心が想い、大観が描いた五浦海岸
五浦観光ホテル 別館 **大観荘**
女将 村田和華子 (35回卒)
北茨城市大津町722 TEL 0293-46-1111(代)
http://www.izura.net/

いいものを創りたい。
㈱ 笠間印刷所
水戸市本町2-1-26
TEL 029-221-3048
E-mail:kasama@proof.ocn.ne.jp

茨城キリスト教学園
生活協同組合
これからは学園のみなさんの
よりよい生活のために努力し
ていきます。
**ONE FOR ALL
ALL FOR ONE**
COOP UNIV. CO-OP

**HOME ROASTED
SAZA COFFEE**
SINCE 1969
鈴木誉志男 (10回卒)
本社:ひたちなか市共栄町8-18
TEL 029-274-1151
www.saza.co.jp

★広告掲載 (有料) 希望される方ご一報ください